

# 皆さんの声を 聴かせてください

## 西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の 更新等に関する検討

オープンハウスにご来場いただきありがとうございます。  
この取組では、西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の対応について、4月からワークショップを開催して地域の皆さん等と検討を重ねてきました。  
公共施設は様々な方が利用することから、ワークショップに参加していない皆さんからもご意見を伺うためにオープンハウスを開催しました。

### オープンハウスのプログラム

#### ○パネル展示をご覧ください

検討対象となっている施設の概要やワークショップの取組内容をご覧ください。

#### ○アンケートにご協力ください

パネル展示や区職員の説明等を踏まえて、アンケートにご記入いただき、この取組に対するご意見をお聴かせください。

**【締切】8月16日(金)**

※アンケートはWEBフォームからのご回答いただけます。

### この取組を詳しく知るには…

ワークショップ当日の配布資料のほか、区立施設マネジメント計画の内容などについて、区ホームページ(右二次元コード)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

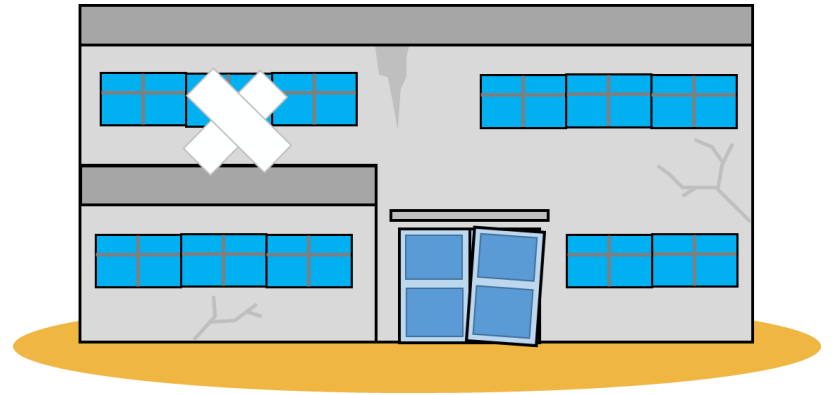


# 区立施設が抱える課題

## ①施設の老朽化

築50年以上の建物が区立施設全体で約3割を超えており、施設の老朽化が進んでいます。区立施設は今後まさに改築時期のピークを迎えます。

▷区立施設は区民共有の財産であるため、地域全体・区全体を俯瞰して今後のあり方を考える必要があります。



## ②区民ニーズの変化への対応

区立施設の多くが整備された高度経済成長期と現在では、大きく時代も変化しており、求められる施設や機能も変化しています。

▷現世代はもちろんのこと、将来世代のニーズや財政上の負担等も考慮する必要があります。

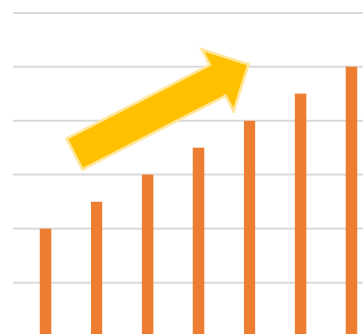


## ③限られた財源の中での施設整備

杉並区においても人口減少・少子化が見込まれます。それにより、働き世代が減少することで税収が減り、福祉や医療にかかるお金である社会保障関連経費が増加することが見込まれ、相対的に施設に使えるお金はこれまで以上に限られてきます。

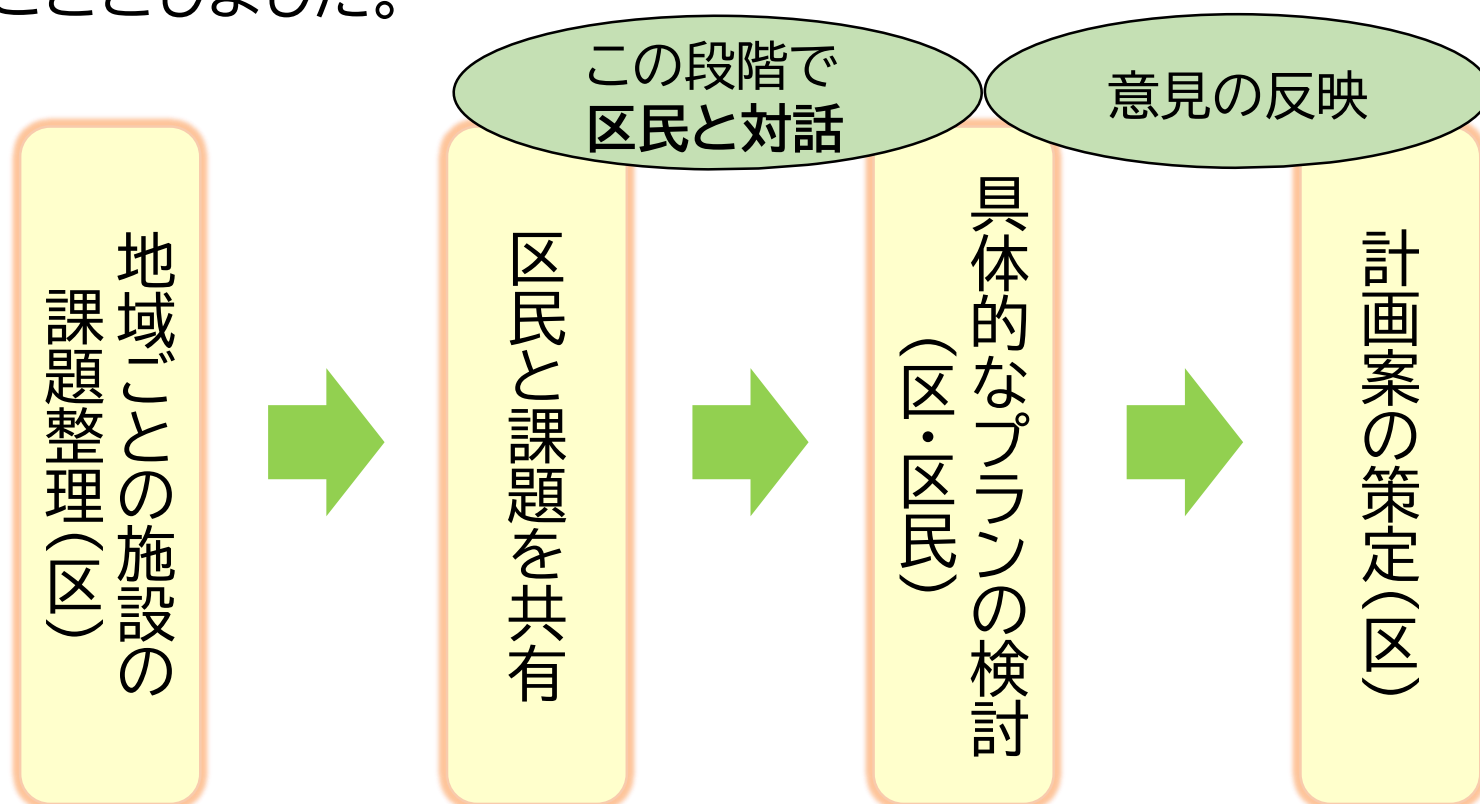
▷将来的な財政状況を踏まえて、限られた資源・財源を最大限に有効活用していく必要があります。

社会保障関連経費



# 区民参画による取組について

- 区では、区立施設の老朽化等の課題に対応するため、平成26年に「杉並区区立施設再編整備計画」を策定し、取組を進めてきました。
- 一方で、これまでの取組の進め方においては、施設利用者や地域の皆さんなどの意見を十分に反映できていなかったことが大きな課題でした。
- そこで、今後は計画の検討段階から施設利用者や地域の実情を一番理解している地域の皆さんの意見を聴きながら、共に計画案をつくり上げていくこととしました。



## 〔スケジュール〕

ワークショップのほか、チラシ等を活用した施設利用者や近隣住民からの意見聴取、オープンハウスの実施を通じて、地域の皆さんとの対話を行い、皆さんの意見を踏まえた上で最終的に区が計画案を決定します。その後、12月にパブリックコメントを実施し、令和7年1月に計画を策定する予定です。

- 区民の皆さんとの取組
  - ・ワークショップ
  - ・施設利用者や近隣住民からの意見聴取
  - ・オープンハウス (地域意見交換会)

6年4月以降

6年11月

6年12月

7年1月

7年4月以降

施設整備  
プランの検討

計画案  
決定

パブリック  
コメント

計画策定

取組実施



# この取組の経緯と目的

## ■令和4～5年度

○西宮中学校については、令和4年度に「**西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会**」を立ち上げ、宮前図書館との複合化などについて検討してきました。

○改築検討懇談会では、「中学校の敷地面積を考えると図書館との複合化は難しいのではないか」といったご意見を多く頂き、さまざまな視点から検討した結果、中学校及び図書館に限らず、周辺の区立施設を含む地域全体の施設整備等について検討を進めていく観点から、改めて検討することとしました。

改築検討懇談会の議論の詳細については、「西宮中学校&宮前図書館改築ニュース(第2号)」をご覧ください。



## ■令和6年度

○ワークショップでは、

**老朽化している西宮中学校とその周辺施設についてどのように建て替えなどを行っていくのか(建物配置)を中心に、**

さまざまな立場の皆さんと考えています。

### 【主な対象施設】

- 西宮中学校
- 宮前図書館・さざんかステップアップ教室「宮前教室」
- 大宮前保育園・ゆうゆう大宮前館



▲西宮中学校



▲宮前図書館



▲さざんかステップアップ教室「宮前教室」



▲ゆうゆう大宮前館



▲大宮前保育園

# 検討対象施設の概要等

## ○施設の基礎情報

施設名	築年数	延床面積	備考
西宮中学校	築64年	校舎:5,033㎡ 体育館: 843㎡	
宮前図書館 さざんかステップ アップ教室「宮前教室」	築52年	図書館:1,974㎡ さざんか: 350㎡	併設施設
大宮前保育園 ゆうゆう大宮前館	築59年	保育園:331㎡ ゆうゆう館:199㎡	併設施設

## ○施設に関する情報

施設種別	施設の概要
さざんかステップ アップ教室 (詳細は参考資料の P8～P10 をご覧ください)	<ul style="list-style-type: none"><li>○杉並区に在住する不登校の小・中学生を対象に、集団生活を通して社会性を育み、社会的自立等を目的とした支援を行っています。</li><li>○登録制となっており、児童・生徒は在籍校に籍を置いたまま通室します。</li><li>○支援に当たっては、教科学習・教育相談・レクリエーション・体験的活動等を組み合わせた個別の活動計画を作成し学習や生活の状況について家庭・学校と適宜連絡を取り合い連携を図りながら支援しています。</li></ul>
ゆうゆう館 (詳細は参考資料の P11～P14 をご覧ください)	<ul style="list-style-type: none"><li>○60歳以上の区民の福祉増進を目的に高齢者の健康増進、介護予防、いきがい活動支援、社会参加支援等の場として設置しています。</li><li>○利用方法 ①個人利用、②団体利用、③目的外利用(高齢者以外の利用)ができます。</li><li>○協働事業 各ゆうゆう館が、「いきがい学び」、「ふれあい交流」、「健康づくり」などに関する講座・催しを実施しています。</li></ul>
コミュニティ ふらっと (詳細は参考資料の P17～P26 をご覧ください)	<ul style="list-style-type: none"><li>○乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設として整備しています。</li><li>○誰でも予約なしで気軽に利用できるラウンジを設置するほか、多世代交流イベント(おまつり)、講座等を実施しています。</li><li>○ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に「高齢者団体優先枠」を設け、一般利用者に先駆けて申し込みができる仕組みを設けています(1団体あたり月に8枠までは使用料免除)。</li></ul>



# 現在の施設配置と施設ごとの建替時に生じる主な課題

B

## ■宮前図書館

- 現地改築する場合、建築上の法令に基づき延床面積を小さくする必要があります。
- (現在)1,974㎡
- (更新後)併設施設の有無や組み合わせにより1,000~1,600㎡程度
- また、約3年間の休館が必要です。

## ■さざんかステップアップ教室「宮前教室」

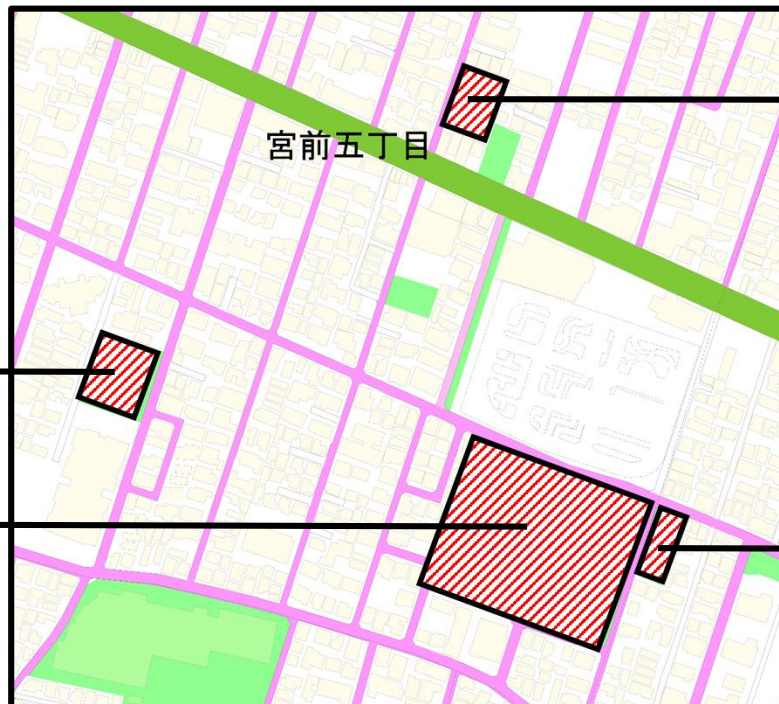
- 事業の性質上、通室する児童・生徒に配慮が必要です。
- 他施設と併設する場合には、他施設の利用者との動線を分ける必要があります。

C

## ■大宮前保育園

## ■ゆうゆう大宮前館

- 老朽化が進んでおり、保育園の仮設用地や高齢者の活動場所を適切に確保しつつ、速やかに建て替えていく必要があります。
- 大宮前保育園を改築する場合、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備をする必要があります、現在よりも延床面積が増加します。
- (現在)331㎡→(更新後)900㎡程度
- 大宮前保育園は、工事期間中に仮設園舎を建設するための代替場所の確保が必要です。



A

## ■西宮中学校

- 校舎には必要な諸室や機能を備えた上で、一定程度の広さの校庭が必要です。
- 学校と他施設と併設する場合は、動線を分けるなど、安全・安心に配慮した施設計画が必要です。

D

## ■宮前児童館

- 児童館再編の今後の方向性については、現在検討中の「(仮称)杉並区子どもの居場所づくり基本方針」で明らかにしていくこととしているため、仮にこれまでと同様の機能を確保していくことを前提として建て替える場合の課題を以下のとおりお伝えしています。
- 現地改築の場合、一般来館は休館となりますが、学童クラブの代替場所の確保が必要です。

# 施設を更新する上で重要となるポイント

## 高齢者の居場所確保の重要性

- 区の高齢者人口は今後上昇することが見込まれます。
- 多くの元気な高齢者が豊富な知識と経験を生かし、いきいきと活躍する社会に向けて、高齢者の社会参加の支援と環境整備の充実を図る必要があります。
- 区では、ゆうゆう館やコミュニティふらっとを整備し、高齢者のいきがい活動を支援しています。

## 保育環境の確保の重要性

### 【区立保育園が担うべき役割】

- この間、保育施設が充実した一方で、急増した私立保育園の保育の質の維持・向上のため、区立保育園が中心となって私立保育園との連携・研修等の支援に取り組むなど、区立保育園の担う役割は重要性を増しています。
- 増加傾向にある障害児や医療的ケア児の受け入れ先としての役割を担っています。
- 少子化が進む一方で共働き世帯が増加しており、保育需要は増加傾向の鈍化に留まっています。(対象地域の保育定員に対する充足率は90%以上)
- 将来的には、保育需要の縮小により私立保育園が閉園になることもあることから、区立保育園において受入れ先を確保する必要があります。

- ・当面の間、民営化や廃止を行わず、区立園(27園)を維持する方針です。
- ・対象地域の保育需要等を踏まえると、保育園の定員は維持していく必要があります。

## 保育園の改築にともなう延床面積の増加

- バリアフリー法関連諸室(エレベーター等)、障害児保育のための諸室、職員用諸室を確保するために、改築前より延床面積が増加します。

大宮前保育園を現在の敷地で改築する場合、併設するゆうゆう大宮前館を現在と同じ場所に整備することはできません。そのため、保育園の改築に当たっては、別途、高齢者の活動場所の確保が必要となります。

# ワークショップ参加者の意見から抽出したキーワード

ワークショップの中で話し合ってきた対象施設を取り巻く状況や建替え時に生じる課題などを踏まえ、各自がワークシートを用いながら「施設の配置で『大切にしたいこと』とその理由」を考え意見交換を行いました。皆さんの意見から以下のキーワードを抽出しました。

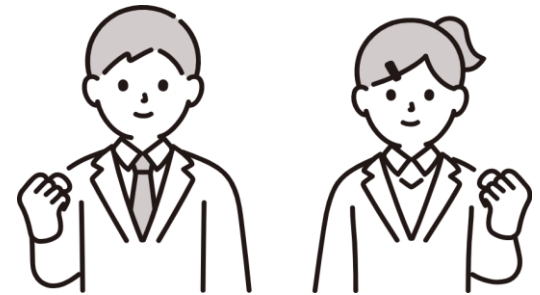


key word

それぞれの年齢に応じた子どものための場

## 参考にした主な意見

- 中学校・保育園は未来をつくるための大切な教育・育成の場として充実させたい
- 子どもは地域で育てる
- それぞれの年代の子どもに適した居場所をつくる
- 中高生の居場所をつくる
- 子どもの安心・安全
- 多様な教育に対応できる学習環境



key word

多世代との交流

## 参考にした主な意見

- 多世代が交流できる
- 多くの人が生きがいを感じられる地域にしたい
- 地域で交流できる場を
- 個々の活動の場を大事にし、つながりが持てる場所を
- 地域の拠点となる場を
- 高齢者・親・子どもが交流できる場所をつくる
- 多世代利用を高める楽しい交流空間を





# ワークショッププランのテーマ

「中学生の学びの場を第一に」考え、

- 学校教育に必要となる諸室や機能の充実
- 現在と同等以上の校庭の確保

を前提に2つのキーワードから

中学校用地(A)を軸に、大きく3つのワークショッププランを作成しました。

PLAN

①

## 中学校用地を学びの拠点に

### ●中学校を単独施設として整備します

教育環境のより一層の充実や学校を区民誰もが学び合い、教え合うことができる場としていくことができます。一方で、このプランの場合ラウンジ等を備えた一定規模の集会施設を整備した場合には、対象地域内に全ての施設を配置することができなくなります。

#### ▶▶ 参考にした主な意見

- 中学校単独で建てられると良い
- 中学校が単独改築となった場合でも、地域への開放は進められると良い

PLAN

②

## 中学校用地を地域の多世代交流の中心に

### ●中学校に集会施設を併設して整備します

中学生と多世代の交流・活動が期待できます。また、生徒数の増減に応じて、余裕教室を集会施設として活用する、集会施設を教育活動に活用する等、将来の状況の変化に応じた転用が比較的行いやすいと考えています。

#### ▶▶ 参考にした主な意見

- 子どもと高齢者など、多世代が交わる機会が学校にあると良い
- 生徒数の減少は必至で、その時に学校部分を柔軟に活用できると良い

PLAN

③

## 中学校用地を地域の子どもたちの学びと活動の拠点に

### ●中学校に児童館を併設して整備します

児童館併設の中学校を、地域の子どもたちの学びと活動の拠点とすることができます。対象地域内においては、多世代が交流し活動できる集会施設を単独施設又は図書館との併設によって設けることができます。

#### ▶▶ 参考にした主な意見

- 中学生・小学校高学年の子どもが集う場所・時間が欲しい
- どちらも子どもが使う施設の西宮中と児童館を併設するのはどうか

# ワークショッププラン作成に当たっての基本的な考え方

施設	考え方
ゆうゆう大宮前館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者の活動場所は移転するものの、集会施設(コミュニティふらっと又はゆうゆう館を想定)を対象地域内に確保し、休止期間無く活動が継続できるようにしています。</li> <li>○整備できる集会施設が300㎡の場合は、現行のゆうゆう館と規模が同等のため、ゆうゆう館とすることを想定し、600㎡の場合は、ラウンジや多目的室等を整備できることから、多世代型のコミュニティふらっととすることを想定しています。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">さざんか ステップアップ教室 「宮前教室」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の用地で改築する場合、工事期間中(3年程度)は検討対象地域ではない場所に仮移転して工事を進めます。</li> <li>○改築工事に伴い、別の用地に移転する場合は仮移転せずに、新しい建物が完成次第移転します。</li> </ul>
宮前図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○概ね3年程度休館します。休館中の対応(近隣図書館の利用促進や代替事業の実施可否等)について検討していきます。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">宮前児童館 (※1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プラン①-2、プラン②は概ね3年程度休館し、プラン①-1は5年程度休館します。</li> <li>休館期間中の学童クラブの代替場所について検討していきます。</li> <li>※プラン③は休館期間はありません。</li> </ul>
大宮前保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○改築する場合、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備をする必要があり、現在よりも延床面積が増加します。 (現在)331㎡ → (更新後)約900㎡</li> <li>○仮移転先は、現在の在園児卒園後に工事に着手することを踏まえて、遊び場119番(南荻窪図書館そば・旧宮前自転車集積所)とすることを基本に作成しています。なお、仮移転先を現在の図書館用地とする場合、図書館等の休館期間が概ね3年半～4年程度増加するなどの影響があります(参考資料p29)。</li> </ul>

※1 児童館再編の今後の方向性については、現在検討中の「(仮称)杉並区子どもの居場所づくり基本方針」で明らかにしていくこととしているため、仮にこれまでと同様の機能を確保していくことを前提として、プランを検討することとしています。

※2 ワークショッププランについては調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。

# プラン①-1 概要

## 中学校用地を学びの拠点に

配置	内容
	<p>●中学校を単独施設として整備します</p> <p>○図書館:(想定面積)1,000㎡程度(現在比900㎡程度減少) (併設施設)児童館</p> <p>○集会施設:(想定面積)300㎡程度(ゆうゆう館を想定) (併設施設)さざんかステップアップ教室</p>

	A	B		C	D	
施設名	西宮中学校	宮前図書館	宮前児童館	大宮前保育園	集会施設 (ゆうゆう館を想定)	さざんかステップアップ教室
想定面積	7,400㎡+ 校庭4,600㎡ (参考資料p34)	1,000㎡	450㎡	900㎡+ 園庭300㎡	300㎡	300㎡

### メリット

- 中学校:現行と同等以上の校庭面積を確保することができます。
- 図書館:児童館を利用する子どもたちが図書館の蔵書や調べ学習ができるスペースを活用しやすくする設えとすることで、図書館のリソースを活かした子どもの居場所づくりが期待できます。また、これらの取組により子ども世代からの図書館利用の促進にも繋げることが期待できます。
- 集会施設:ゆうゆう館を利用している高齢者団体が、休止期間無く活動が継続できます。
- さざんか:集会施設を活用したプログラムを実施できる可能性があります。また、児童生徒によっては、集会施設(ゆうゆう館を想定)の利用者との交流が期待できます。
- 児童館:・図書館の静かなスペースと児童館の活発な遊びの場を組み合わせることで、子どもたちにとって過ごしやすい多機能な環境が提供されるため、放課後や休日に子どもたちが安心して過ごせる居場所となることが期待できます。  
・図書館と児童館が併設されることで、共同イベントやプログラムが実施しやすくなり、子どもだけでなく親や高齢者など、多世代の利用者が集まりやすくなり、地域コミュニティの強化が期待できます。

### 留意点

- 図書館:現在の容積率と児童館との併設を踏まえて延床面積を現在から900㎡程度減らす必要があり、共有スペース等のレイアウトの工夫が必要です。
- 集会施設:現在のゆうゆう館と同等の面積を確保できますが、ラウンジや多目的室を設置できない可能性があります。
- さざんか:中学校に隣接することの影響を考慮する必要があります。
- 児童館:・工事期間中5年程度休館となり、学童クラブの仮移転先の確保が課題となります。  
・ある程度の音が生じる施設であり、静かに図書館を利用希望する区民に向けて施設の防音・振動等の対策が必要です。  
・図書館利用者の妨げにならないように施設の配置や利用者の動線を配慮する必要があります。

※ワークショッププランについては調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。  
※児童館の取り扱いについては現在検討中のため、仮にこれまでと同様の機能を確保していくことを前提として、現在と同じ面積としています。



# プラン①-2 概要

## 中学校用地を学びの拠点に

配置	内容
	<p>●中学校を単独施設として整備します</p> <p>○図書館:(想定面積)1,000㎡程度(現在比900㎡程度減少) (併設施設)集会施設</p> <p>○集会施設:(想定面積)600㎡程度(コミュニティふらっとを想定) (併設施設)図書館</p> <p>○さざんかステップアップ教室を設置できるスペースがないため、他のエリア(高井戸や久我山など)に整備するなど対応策の検討が必要です。</p>

	A	B	C	D	
施設名	西宮中学校	宮前図書館	集会施設 (コミュニティふらっとを想定)	大宮前保育園	宮前児童館
想定面積	7,400㎡+ 校庭4,600㎡ (参考資料p34)	1,000㎡	600㎡	900㎡+ 園庭300㎡	450㎡

### メリット

- 中学校:現行と同等以上の校庭を確保することができます。
- 図書館:面積としては現在より狭くなりますが、工夫次第で集会施設(コミュニティふらっとを想定)との共有部分を有効活用することが可能です。
- 集会施設:・集会室に加え、ラウンジ等を備えた一定規模の集会施設(コミュニティふらっとを想定)を整備することができます。また、図書館との併設により、スペースの有効活用が図られるほか、一体的な運用も可能と考えられます。  
・図書館と集会施設(コミュニティふらっとを想定)を併設し、地域の活動・交流の場とすることができます。

### 留意点

- 図書館:現在の容積率と集会施設(コミュニティふらっとを想定)との併設を踏まえて延床面積を現在から900㎡程度減らす必要があり、共有スペース等のレイアウトの工夫が必要です。
- さざんか:地域内に配置できていないため、移転先の確保が課題となります。  
※仮にさざんかステップアップ教室を図書館と集会施設(コミュニティふらっとを想定)の建物に併設した場合、その集会施設の延床面積が300㎡程度となるため、ゆうゆう大宮前館の利用者の活動が中心となる見込みです。
- 児童館:工事期間中3年程度休館となり、学童クラブの仮移転先の確保が課題となります。

# プラン① ワークショップでの主な意見

## ◀ 主な意見

- 学校単独だとセキュリティー面で安心
- 教育施設として充実させられる
- 面積の基準を満たせばOKではなく中学校は広々と使えるようにすべき

### ●中学校以外の施設の併設について

#### 【プラン①-1】図書館×児童館

##### @B用地

- 児童館の子が図書館利用できるのが良い
- セキュリティー面が心配
- どちらも広さがとれない
- 庭の使用方法が違うので共有できない
- 図書館を静かに利用したい人もいるので別が良いと思う

#### 【プラン①-1】さざんか×集会施設(ゆうゆう館を想定)

##### @D用地

- 併設が良いのではないか
- 交流は期待できない

#### 【プラン①-2】図書館×集会施設(コミュニティふらっとを想定)

##### @B用地

- 多くの世代が交流しやすい
- 共有利用もでき相性が良いのでは
- 図書館と集会施設を一体に使用できるのでは
- 音と広さに不安がある

学校を単独で建てることについては、教育施設としての充実やセキュリティーの面から、肯定する意見が多くありました。

図書館と集会施設(コミュニティふらっとを想定)の併設については、概ね交流スペースの有効活用に肯定的な意見が多くありました。

図書館と児童館の併設については、利用方法の違いから、相性が良くないと考える意見が多くありました。

さざんかと集会施設(ゆうゆう館を想定)の併設については、併設が良いという意見がある一方、さざんかの特性から交流が期待できないという意見が見られました。

# プラン② 概要

## 中学校用地を地域の多世代交流の中心に

配置	内容
	<p>●中学校に集会施設を併設して整備します</p> <p>○図書館:(想定面積)1,300㎡程度(現在比600㎡程度減少) (併設施設)さざんかステップアップ教室</p> <p>○集会施設:(想定面積)600㎡程度(コミュニティふらっとを想定) (併設施設)中学校</p>

	A		B		C	D
施設名	西宮中学校	集会施設 (コミュニティふらっとを想定)	宮前図書館	さざんかステップアップ教室	大宮前保育園	宮前児童館
想定面積	7,400㎡+ 校庭4,400㎡ (参考資料p35)	600㎡	1,300㎡	300㎡	900㎡+ 園庭300㎡	450㎡

### メリット

- 中学校:・地域の方々が学校活動に参加する、あるいは中学生が集会施設(コミュニティふらっとを想定)のイベントに参加する等、中学生と地域の方々との交流・連携が期待されます。  
・生徒数の減少局面を迎えた場合には集会施設(コミュニティふらっとを想定)を拡大する等、将来に向けた施設の転用を比較的行いやすいと考えています。  
・生徒数の増減に応じて、余裕教室を集会施設として活用する、集会施設を教育活動に活用する等、将来の状況の変化に応じた転用が比較的行いやすいと考えています。
- 集会施設:集会室に加え、ラウンジ等を備えた一定規模の集会施設(コミュニティふらっとを想定)を整備することができます。
- さざんか:現在と同様に、図書館利用者との交流が期待できるとともに、読書の習慣が身に着く等、通室する児童生徒の学びについてメリットがあります。
- その他:図書館、さざんかステップアップ教室、保育園、児童館は現地改築となり、これまでの施設配置との差異は最小限に留められます。

### 留意点

- 中学校:現状と同程度以上の校庭は確保できる見込みですが、単独改築よりは若干狭くなります。
- 図書館:現在の容積率とさざんかステップアップ教室の併設を踏まえて延床面積を現在から600㎡程度減らす必要があり、共有スペース等のレイアウトの工夫が必要です。
- 集会施設:設計に際しては、生徒のプライバシー保護の観点に留意する必要があります。
- さざんか:工事期間中の仮移転先の確保が課題となります。
- 児童館:工事期間中3年程度休館となり、学童クラブの仮移転先の確保が課題となります。

※ワークショッププランについては調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。  
※児童館の取り扱いについては現在検討中のため、仮にこれまでと同様の機能を確保していくことを前提として、現在と同じ面積としています。



# プラン② ワークショップでの主な意見

## ◀ 主な意見

- 校庭を少し狭くするだけで多世代型の集会施設を建設できるのは良いと思う
- 学校の教室が確保できた上で集会施設と併設するのであれば良い
- 中学校と集会施設の交流・連携が期待できる
- 既に中学校では地域との交流があるので集会施設との併設のメリットは要らない
- 中学校と集会施設併設により多世代交流活動ができるとは思えない
- たまに交流する程度なら併設する必要なし
- 中学校に全く別の施設を作るより多目的に利用できる部屋を確保する形が良い
- 中学校と集会施設併設というよりゆくゆく切り離して転用できるデザインで建てるだけで良い
- 生徒数減少に伴い施設の転用が行いやすいとは思えない
- 生徒数が減少した場合は教育充実のため広々と使えば良い
- 中学校と地域が相互に利用できる部屋があるのが良い
- 併設するなら入口を一つにできる施設同士でない
- 施設の場所が現在とあまり変わらないところがメリットだと思う

## ●中学校以外の施設の併設について

### 図書館×さざんか

#### @B用地

- 組み合わせが良いと思う
- 共通性が考えにくい

□中学校と集会施設(コミュニティふらっとを想定)の交流・連携を期待する意見がある一方、既に交流があることや、中学校と集会施設の併設が直ちに多世代交流に繋がらないのではないかといった意見がありました。

□また、学校として必要な諸室を確保した上で集会施設(コミュニティふらっとを想定)と併設することに肯定的な意見がある一方、中学校を単独で建てて、中学校内に多目的に利用できる諸室を設ける、ゆくゆくは転用できるように設計する等、他施設の併設にこだわらない意見もありました。

# プラン③-1 概要

## 中学校用地を地域の子どもたちの学びと活動の拠点に

配置	内容
<p>配置図: A: 中学校+児童館, B: 図書館, C: 保育園, D: 集会施設+さざんか</p>	<p>●中学校に児童館を併設して整備します</p> <p>○図書館:(想定面積)1,600㎡程度(現在比300㎡程度減少) (併設施設)なし(単独)</p> <p>○集会施設:(想定面積)300㎡程度(ゆうゆう館を想定) (併設施設)さざんかステップアップ教室</p>

	A		B	C	D	
施設名	西宮中学校	宮前児童館	宮前図書館	大宮前保育園	集会施設 (ゆうゆう館を想定)	さざんかステップアップ教室
想定面積	7,400㎡+ 校庭4,400㎡ (参考資料p35)	450㎡	1,600㎡	900㎡+ 園庭300㎡	300㎡	300㎡

### メリット

- 中学校:運用の工夫により、中学生と児童館(学童クラブ)の子どもたちの交流が期待できます。また、中一ギャップの解消等につながる可能性があります。
- さざんか:集会施設を活用したプログラムを実施できる可能性があります。また、児童生徒によっては、集会施設(ゆうゆう館を想定)の利用者との交流が期待できます。
- 児童館:・児童館(学童クラブを含む)は、休館期間なく改築できます。  
・児童館が中学校と併設になるため、中学生の利用増加が見込まれ、これに伴う高校生の利用増加も期待できます。これにより、中・高校生世代の利用増加により、現行の児童館以上に異年齢の子どもの交流の促進が期待できます。

### 留意点

- 中学校:現状と同程度以上の校庭は確保できる見込みですが、単独改築よりは若干狭くなります。
- 図書館:単独施設であるものの、現在の容積率を踏まえて延床面積を300㎡程度減らす必要があり、共有スペース等のレイアウトの工夫が必要です。
- 集会施設:現在のゆうゆう館と同等の面積を確保できますが、ラウンジや多目的室を設置できない可能性があります。
- さざんか:中学校に隣接することの影響を考慮する必要があります。
- 児童館:中学校の授業などの妨げにならないように施設の配置や利用者の動線に配慮する必要があります。

# プラン③-2 概要

## 中学校用地を地域の子どもたちの学びと活動の拠点に

配置	内容
	<p>●中学校に児童館を併設して整備します</p> <p>○図書館:(想定面積)1,300㎡程度(現在比600㎡程度減少) (併設施設)さざんかステップアップ教室</p> <p>○集会施設:(想定面積)600㎡程度(コミュニティふらっとを想定) (併設施設)なし(単独)</p>

	A		B		C	D
施設名	西宮中学校	宮前児童館	宮前図書館	さざんかステップアップ教室	大宮前保育園	集会施設 (コミュニティふらっとを想定)
想定面積	7,400㎡+ 校庭4,400㎡ (参考資料p35)	450㎡	1,300㎡	300㎡	900㎡+ 園庭300㎡	600㎡

### メリット

- 中学校:運用の工夫により、中学生と児童館(学童クラブ)の子どもたちの交流が期待できます。  
また、中一ギャップの解消等につながる可能性があります。
- 集会施設:集会室に加え、ラウンジ等を備えた一定規模の集会施設(コミュニティふらっとを想定)を整備することができます。
- さざんか:現在と同様に、図書館利用者との交流が期待できるとともに、読書の習慣が身に着く等、通室する児童生徒の学びについてメリットがあります。
- 児童館:
  - ・児童館(学童クラブを含む)は、休館期間なく改築できます。
  - ・児童館が中学校と併設になるため、中学生の利用増加が見込まれ、これに伴う高校生の利用増加も期待できます。
  - ・中・高校生世代の利用増加により、現行の児童館以上に異年齢の子どもの交流の促進が期待できます。

### 留意点

- 中学校:現状と同程度以上の校庭は確保できる見込みですが、単独改築よりは若干狭くなります。
- 図書館:現在の容積率とさざんかステップアップ教室の併設を踏まえて延床面積を現在から600㎡程度減らす必要があり、共有スペース等のレイアウトの工夫が必要です。
- さざんか:工事期間中の仮移転先の確保が課題となります。
- 児童館:中学校の授業などの妨げにならないように施設の配置や利用者の動線に配慮する必要があります。

※ワークショッププランについては調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。  
 ※児童館の取り扱いについては現在検討中のため、仮にこれまでと同様の機能を確保していくことを前提として、現在と同じ面積としています。



# プラン③-3 概要

## 中学校用地を地域の子どもたちの学びと活動の拠点に

配置		内容				
		<p>●中学校に児童館を併設して整備します</p> <p>○図書館:(想定面積)1,000㎡程度(現在比900㎡程度減少) (併設施設)集会施設</p> <p>○集会施設:(想定面積)600㎡程度(コミュニティふらっとを想定) (併設施設)図書館</p> <p>○さざんかステップアップ教室は、中学校の隣接地に単独で設置しますが、容積率等から300㎡程度 of 他施設を併設する余裕があります。</p>				
	A	B	C	D		
施設名	西宮中学校 宮前児童館	宮前図書館 集会施設 (コミュニティふらっとを想定)	大宮前保育園	さざんかステップアップ教室		
想定面積	7,400㎡+ 校庭4,400㎡ (参考資料p35)	1,000㎡	900㎡+ 園庭300㎡	300㎡		
<b>メリット</b>						
<p>○中学校:運用の工夫により、中学生と児童館(学童クラブ)の子どもたちの交流が期待できます。また、中一ギャップの解消等につながる可能性があります。</p> <p>○図書館:面積としては、区立図書館の中でも狭い方になりますが、集会施設(コミュニティふらっとを想定)との共有部分の工夫次第で有効活用することが可能です。</p> <p>○集会施設:・集会室に加え、ラウンジ等を備えた一定規模の集会施設(コミュニティふらっとを想定)を整備することができます。また、図書館との併設により、スペースの有効活用が図られるほか、一体的な運用も可能と考えられます。 ・図書館と集会施設(コミュニティふらっとを想定)を併設し、地域の活動・交流の場とすることができます。</p> <p>○児童館:・児童館(学童クラブを含む)は、休館期間なく改築できます。 ・児童館が中学校と併設になるため、中学生の利用増加が見込まれ、これに伴う高校生の利用増加も期待できます。 ・中・高校生世代の利用増加により、現行の児童館以上に異年齢の子どもの交流の促進が期待できます。</p>						
<b>留意点</b>						
<p>○中学校:校庭は現状と同程度以上の校庭は確保できる見込みですが、単独改築よりは若干狭くなります。</p> <p>○図書館:現在の容積率と集会施設(コミュニティふらっとを想定)との併設を踏まえて延床面積を現在から900㎡程度減らす必要があり、集会施設との共有スペース等のレイアウトの工夫が必要です。</p> <p>○さざんか:中学校に隣接することの影響を考慮する必要があります。</p> <p>○児童館:中学校の授業などの妨げにならないように施設の配置や利用者の動線を配慮する必要があります。</p>						

※ワークショッププランについては調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。  
 ※児童館の取り扱いについては現在検討中のため、仮にこれまでと同様の機能を確保していくことを前提として、現在と同じ面積としています。

# プラン③ ワークショップでの主な意見

## ◀ 主な意見

- 中学校と児童館の併設による交流のイメージが湧かない
- 学校として小中連携を強化すれば良い
- 児童館との併設は騒音などの点において中学校の授業に支障が出るのではないか
- 幼児・小学生と中学生が安全に利用できる広さが必要
- 児童館に来る年代と中学校は違う
- 中一ギャップの解消は難しいのでは

## ●中学校以外の施設の併設について

### 【プラン③-1】さざんか×集会施設(ゆうゆう館を想定)

#### @D用地

- 併設が良いのではないか
- 交流は期待できない

### 【プラン③-2】図書館×さざんか(コミュニティふらっとを想定)

#### @B用地

- 組み合わせが良いと思う
- 共通性が考えにくい

### 【プラン③-3】図書館×集会施設(コミュニティふらっとを想定)

#### @B用地

- 多くの世代が交流しやすい
- 共有利用もでき相性が良いのでは
- 図書館と集会施設を一体に使用できるのでは
- 音と広さに不安がある

- 中学校と児童館の併設については、運営や校庭の利用、児童館利用の年齢層から、相性が良くないと考える意見が多数寄せられました。
- さざんかと集会施設(ゆうゆう館を想定)の併設については、併設が良いという意見がある一方、さざんかの特性から交流が期待できないという意見が見られました。
- 図書館と集会施設(コミュニティふらっとを想定)の併設については、概ね交流スペースの有効活用に肯定的な意見が多くありました。

# 参考案 概要

改築検討懇談会で議論されていた中学校と図書館の複合を行った場合に考えられる他施設も含めた配置を参考案としています。

配置	内容
	<p>●中学校に図書館を併設して整備します</p> <p>○図書館:(想定面積)1,600㎡程度(現在比300㎡程度減少) (併設施設)中学校</p> <p>○集会施設:(想定面積)600㎡程度(コミュニティふらつとを想定) (併設施設)さざんかステップアップ教室</p> <p>○現在の図書館用地には保育園の仮設として活用した後、集会施設(コミュニティふらつとを想定)とさざんかステップアップ教室を整備します。</p>

	A		B		C	D
施設名	西宮中学校	宮前図書館	さざんかステップアップ教室	集会施設 (コミュニティふらつとを想定)	大宮前保育園	宮前児童館
想定面積	7,400㎡+ 校庭4,400㎡ (参考資料p36)	1,600㎡	300㎡	600㎡	900㎡+ 園庭300㎡	600㎡

## メリット

- 中学校:地域図書館との併設による中学校の教育環境の向上等が期待できます
- 図書館:移転改築となるため、長期間休館する必要がありません
- 保育園:仮設園舎を現園舎の近隣(現在の図書館用地)に設けることができます
- 集会施設:集会室に加え、ラウンジ等を備えた一定規模の集会施設(コミュニティふらつとを想定)を整備することができます

## 留意点

- 中学校:現状と同程度以上の校庭は確保できる見込みですが、単独改築よりは若干狭くなります。また校庭確保のためには一定の地下利用が必要となり、その分必要経費が増加します。